下地を補強し、上塗り塗料の密着性を高める

油性シーラー 強力下塗り剤

塗り方

- はがれかかった古い塗膜は、皮スキ・ワイヤーブラシなどを使用して充分に取り除きます。
- ひび割れや汚なさは、あらかじめセメントやコーキング材などで補修しておきます。
- 塗る面の汚れ・ホコリ・砂・コンクリートのアク・カビなどをとり、水洗いしてから充分に乾かします。
- 油分はペイントうすめ液で拭いてよく落とし、充分に乾かします。
- ●はがれかかった古い塗膜は、皮スキ・ワイヤーブラシなどを使用して充分に取り除きます。
- ●ひび割れや汚なさは、あらかじめセメントやコーキング材などで補修しておきます。
- ●塗る面の汚れ・ホコリ・砂・コンクリートのアク・カビなどをとり、水洗いしてから充分に乾かします。
- ●油分はペイントうすめ液で拭いてよく落とし、充分に乾かします。
- ●塗料がついては困るところには、あらかじめマスキングテープなどでおおいます。
- ●キャップを開ける前に容器のと振り動かして中の塗料を充分に混ぜてから、口の近い金属等の溶けない容器に必要量を移します。
- ●うすめずにそのまま塗ります。
- ●コーナーや塗りにくいところは先にすまけいパケで塗っておきます。
- ●広い面積の部分はローラーバケ・平パケなどを使うと、速く早く塗ることができます。
- ●吸い込みのある下地には、1回目の塗膜が充分に乾いてから、2回塗りをします。
- ●マスキングテープは塗料が手につかなくなったらはがします。
- ●塗装が終わったら、ハケや用具は乾かないうちにラッカーうすめ液で洗います。
- ●残った塗料は、固くキャップをして保管します。

危険

- ●引火性あり ●皮膚刺激 ●強い眼刺激 ●発がんのおそれ
- ●生殖細胞または胎児への悪影響のおそれ ●臓器の障害
- ●呼吸器への刺激のおそれ ●眠気やめまいのおそれ
- ●水生生物に非常に強い毒性

救急処置

- ●目に入った場合には、直ちに多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
- ●誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
- ●蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けて下さい。
- ●皮膚に付着した場合には、多量の石鹸水で洗い落とし、痛み又は外観に変化のあるときは、医師の診察を受けて下さい。

第2石油類／危険等級Ⅲ／火気厳禁／合成樹脂クリヤ塗料(A-005)

株式会社 アサヒペン 大阪市鶴見区鶴見4-1-12 http://www.asahipen.jp
お客様相談室 ☎06-6934-0300

日本製 01-1604

アサヒペン

下地を補強し、上塗り塗料の密着性を高める

油性シーラー 強力下塗り剤

コンクリート・モルタル・ブロック・スレート瓦・セメント瓦などの下塗りに

強力浸透タイプ 速乾タイプ 7L

乾燥時間	上塗り時間の目安	●標準塗り面積(1回塗り)	タタミ
夏期/10～30分 冬期/30～60分	夏期/3時間以上 冬期/6時間以上	35～56㎡	21～33枚分

うすめずに塗って下さい。

注意書きをよく読んでから使用して下さい。

アサヒペン

下地を補強し、上塗り塗料の密着性を高める

油性シーラー 強力下塗り剤

コンクリート・モルタル・ブロック・スレート瓦・セメント瓦などの下塗りに

強力浸透タイプ 速乾タイプ 7L

乾燥時間	上塗り時間の目安	●標準塗り面積(1回塗り)	タタミ
夏期/10～30分 冬期/30～60分	夏期/3時間以上 冬期/6時間以上	35～56㎡	21～33枚分

うすめずに塗って下さい。

注意書きをよく読んでから使用して下さい。

下地を補強し、上塗り塗料の密着性を高める

油性シーラー 強力下塗り剤

商品名	油性シーラー	品名	合成樹脂塗料
成分	合成樹脂(アクリル)、有機溶剤		

特長

- ●スレート瓦・各種セメント瓦・コンクリート・モルタルなどの下地を補強し、上塗り塗料との密着性を向上させます。
- ●上塗り塗料との相乗効果により優れた防水性と耐久性を発揮します。
- ●本品を下塗りしておけば吸い込みを防ぎ、余分な上塗り塗料がいらずに経済的です。

用途

- ●コンクリート・モルタル・ブロックなどの外かべ・へい・屋上・ベランダ・ガレージなどを塗装する場合の下地補強。
- ●スレート瓦(カラーコロニアル・カラーベスト等)各種セメント瓦などを塗装する場合の下地補強。(モニエル瓦は除く)

絶えず水がかかったり水につかるところや、いつも湿っているところには適しません。
本品は下塗り用塗料です。必ず上塗り用の塗料を塗装して下さい。

上塗り

本品塗装後、夏期3時間(冬期は6時間)以上乾燥させてから、上塗り用の塗料を塗装して仕上げて下さい。

用具の手入れ方法

塗料が乾かないうちにラッカーうすめ液で洗って下さい。

保管上の注意

①幼児の手の届かないところに保存し、子供が誤飲・誤食いたずらをしないように注意して下さい。
②直射日光や火気のある場所、自動車内などの高温になるところ、容器がさびやすいところには置かないで下さい。
③残った塗料はしっかりとキャップをしめて保管し、できるだけ早く使い切って下さい。

取扱い上の注意

1. 表示の用途以外に使用しないで下さい。
2. 火気のあるところでは塗らないで下さい。
3. 体調の悪いときやアレルギー・化学物質に敏感な人は使用しないで下さい。
4. 有機溶剤を吸入しないよう、目に入らぬよう、また誤飲しないように注意して取扱って下さい。
5. 有機溶剤が含まれているので、塗装中、乾燥中ともに換気をよくして下さい。
6. 取扱い中は必要に応じてマスクや保護メガネ、保護手袋(塗料が浸透しないもの)を使用して下さい。炎症を起こすことがありますので、皮膚に触れないようにして下さい。
7. 塗料がついても支障がない服装で作業して下さい。
8. 塗装は雨の降りそうな日や湿度の高い日を避け、天気のよい日に塗って下さい。
9. あらかじめ目立たない部分で試し塗りをして、塗る面のツヤの変化・乾燥性・下地への影響・密着性・仕上がり状態などを確かめながら塗って下さい。
10. シリコン系・フッ素系その他の特殊防水処理をした面や、シーリング材等の一部には、塗料が付着しないことがあります。
11. 旧塗膜に塗装する場合、旧塗膜が浮き上がってはがれたり、旧塗膜の成分の影響で上塗り塗料がはじいてきれいに塗れない場合があります。
12. 塗りすぎると上塗り塗膜にピビ割れを生じることがあります。
13. 屋根を塗る場合は、降りるところが建築になるように、順序を考えて塗って下さい。また、転落事故のないよう充分に注意して作業して下さい。
14. 塗り面積・乾燥時間などは、素材・塗り方・気象条件の違いにより異なります。
15. 新しいコンクリートやモルタル面に塗る場合は、施工後1ヶ月以上経ってから塗って下さい。
16. 吸い込みが著しい場合は、くり返し塗って下さい。
17. 容器は塗料を使い切ってから捨てて下さい。
18. やむを得ず塗料を捨てるときは、新聞紙などに塗り広げ、完全に乾かしてから一般ゴミとして捨てて下さい。
19. 容器を落下させると中身が漏れることがありますので、取扱いに注意して下さい。

株式会社 アサヒペン 大阪市鶴見区鶴見4-1-12 http://www.asahipen.jp
お客様相談室 ☎06-6934-0300

日本製 01-1604